



Tanabe East Rotary Club in 2017-18

2017-18年度RI会長: イアン H.S. ライスリー
 第2640地区ガバナー: 岡本 浩
 田辺東ロータリークラブ
 創立: 昭和49年5月15日
 会長: 木村 壽一
 幹事: 片井 貢



ロータリー:
変化をもたらす

例会場/事務所: 田辺市下屋敷町81-10
 きのくに信用金庫田辺支店3F
 Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008
 http://tanabe-east-rc.com/
 E-mail info@tanabe-east-rc.com
 例会: 毎週水曜日 12:30~
 ビジターフィー ¥2,000

○会長報告 会長 木村 壽一



- 本日のお客様は、田辺市長 真砂 充敏 (まなご みつとし) 様です。後ほど宜しくお願い致します。
- 6月17日(日) アバローム紀の国に於いて、クラブ会長エレクト会議が開催されます。会長エレクト 武田静也君に出席して頂きます。ご苦労様です。

- 6月17日(日) 銀ちろ本店に於いて、第1分区新旧合同会長幹事会が開催されます。今期 会長 木村と、幹事 片井貢君、次期 会長 武田 静也君、幹事野村 憲司君の4名、出席して参ります。
- 本日の例会終了後、定例理事会を開催いたします。理事・役員さんは、ご出席宜しくお願い致します。
- 本日は、和づち (湯川君) の鰻弁当となっております。

○幹事報告 幹事 片井 貢



- 例会日時変更
 ◎那智勝浦RC 6月28日(木) → 6月30日(土) 18:00~
 場所: 焼肉「ひげ」新宮市神倉
 <家族親睦最終例会>
- 回覧
 ◎「やおきジャーナル79号」
 ◎やおき後援会より
 「平成30年度 やおき後援会総会のご案内」

- ◎田辺市市民環境部環境課環境対策係より
 「平成30年度『田辺湾クリーン作戦』について (御礼)」
- ◎岡本ガバナー事務所より
 「月信No.12 (6月号) の配布日について」
 「トロント国際大会について 国際大会ニュース: 出発前にぜひご確認を!」
- ◎檜畑ガバナーエレクト事務所より
 「クラブ会長エレクト会議について」
 「クラブ会長エレクト会議『セミナー』資料」
- ◎第1分区ガバナー補佐 三好清隆様より
 「2017~2018年度国際ロータリー第2640地区 第1分区 全体集会 収支明細書」

○本日の唱歌

「バラが咲いた」 唱歌委員 湯川 和洋 君



○ゲスト・ビジター

田辺市長

真砂 充敏 (まなご みつとし) 様



○出席報告

会員数 43名 義務免除 3名 本日の欠席者 8名
本日出席率 80.00% 5月30日の修正出席率 92.31%

○にこにこ報告

(敬称略)

◇田辺市長 真砂 充敏様をお迎えして
卓話謝礼をニコニコ箱にいただきました。
愛須 勝章、上原 俊宏、岡本 博、沖 史郎
片井 貢、木村 壽一、畔田 実、小山 實
阪本 邦夫、坂本 正人、佐田 一三、杉若 雅宣
竹中 悟、竹村 英一、谷中 順次郎、谷本 司
中嶋 伸和、野村 憲司、橋本 隆、前田 吉彦
丸山 博之、森本 修至、山本 亘、早稲田 清司

◇本日、公務大変お忙しい所、外卓を快くOK頂きましてありがとうございます。よろしくお願ひします。
泉 房次朗

◇有志の皆さんで新築祝いの会を開いていただき、ありがとうございました。(大枚頂きました)
武田 静也

◇お花いただきます。
吉田 和枝

○本日のプログラム

田辺市長
真砂 充敏 様



田辺東ロータリークラブの皆様には、日頃から田辺市政の各般にわたりまして、多大なるご協力をいただいておりますことに、心からお礼を申し上げます。

皆さんもご承知のとおり、地方はどこも、人口減少という大変な時代に入っている背景がございます。田辺市は市町村合併をして13年が経過しましたが、この間、市の人口は約1万人減少しています。しかしこれは、田辺市に限ったことではなく、日本の国自体がそうした人口減少の状況にあります。今年ちょうど、「明治150年」の年ですが、明治元年の頃の日本の人口は約3,200万人でした。これが150年かけて4倍に膨れ上がり、今後150年かけて相対するカーブで減少していくと言われており、このことによって、様々な影響がでてくるのが懸念されています。ただ問題は、人口減少が諸悪の根源なのかという点を問い直していかなければなりません。人口減少という事実を受け入れながら、少ない人数でいかに豊かに生きるか、また、少ないけれども活力があり後継者が育つようなまちをどう作るかということを実際に議論する大事な時期にさしかかっているのが現状です。

そこで、こうした背景を踏まえ、田辺市ではいくつもの大型事業に取り組んでいます。

まず、国のモデル事業の認定を受け、駅前空間を核として景観刷新を行う「景観まちづくり刷新支援事業」です。これは、中心市街地に力を入れて取り組むものですが、なにも合併した旧4町村を軽視するということではありません。ただ、このまま中心市街地の空洞化が進むと、田辺市の拠点がうやむやになっていくのではないかとすることに危機感を持たざるを得ません。やはり、まちには拠点が必要です。拠点がないと、これからのまちの将来を描くことが難しくなります。そこで、紀南の拠点を作るくらいの気持ちで、中心市街地に力を入れていこうと考えています。

現在、JR紀伊田辺駅については、既に新しい駅ビルが完成し、続いて古い駅舎を刷新するにあたり、できるだけ元の雰囲気を壊さないように、JR側と協議を重ねながら進めているところです。また、駅前商店街については、既存のアーケードを取り払い、新たに設けるひさしの上に電線を這わせる手法を模索することで電柱と電線をなくす景観づくりに取り組んでいます。

そして、今年4月には、世界遺産に登録された闘鶏神社の前に「街なかポケットパーク」がオープンしました。この施設は、連続する大型事業の全体像の中の案内拠点となるべき施設として、少し早目に完成させたもので、今後予定している事業が全て完了し、それぞれが機能し始めた際に、地域が一体となって、この案内拠点を中心に盛り上げていくことが大事ではないかと思っています。また、弁慶ゆかりの闘鶏神社から南方熊楠顕彰館へ続く道路については、石畳調の舗装へ美装化を始めており、観光客のまちなかの周遊を促したいと考えています。

そして、扇ヶ浜公園では、合気道の創始者である植芝盛平翁の顕彰施設と津波避難ビルの機能を兼ね備えた武道館の建設に取り組んでいます。

このように、まちなかを歩いて三偉人をめぐることができるということは、田辺市にとっては大変大事なことです。中心市街地をいくら活性化させようとしても、当地に人が来てもらわないことには、交流人口の増加にはつながりませんので、これらの事業に力を入れて推進していきます。

また、文里湾横断道路についても、今年度中には一定の形を皆さんにお示しすることができると思います。防災面での強化、白浜町との観光面での連携、そして南和歌山医療センターへの救急搬送用道路としての活用などを視野に入れ推進してまいりますので、ぜひとも皆様のご理解とご協力を賜りたいと思っております。

そしてもう一つが庁舎移転です。一昨年8月に、田辺市庁舎整備方針検討委員会からいただいた答申というのは、大きく3点あり、高台へ移転すべきだという点、中心市街地からあまり離れないところが良いという点、そしてできるだけ早く取り組むべきだという点です。いつ発生してもおかしくない災害に対して、活動拠点となるべき庁舎のあり方については、早急に取り組まなければなりません。この点につきましても市民の皆さんから一定のご理解をいただいているわけですので、引き続きご協力を賜りたいと思っております。

ここまでハード事業について申し上げましたが、ソフト事業も並行して行わなければ最大の効果は得られません。

最初に申し上げました人口が少なくなっても、いかに豊かに生きるかということと、もう一つは、住民票の数は減っていきませんが、「交流人口」を増やすことは可能だという点です。最近では、「交流人口」が少し進化して「関係人口」という名前に変わってきています。それは、仮に大阪であろうが、東京であろうが、どこにいても田辺市と関わりを持って、そして田辺市の色々なまちづくりに応援団として参画してくれる人を増やしていくということです。また、二地域居住という言葉がありますが、二つの場所で生活をするということは、今後はより簡単になっていくと思います。京阪神や東京からの時間距離も、大きく短縮されました。例えば月曜日から金曜日までは大都市で生活し、週末は田辺市で生活をする。定住人口を増やそうとしてもなかなか難しいのですが、このように交流人口を増やしていくことは可能だと思っています。こうした交流人口をこのまちに引き入れるためにも、中心市街地の拠点整備が必要になってくるのです。

外国からの観光客数も増えてきています。「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録された14年前、田辺市内で宿泊した外国人観光客数は1年間で1,400人でした。それが一昨年は30,000人を超え、昨年は36,000人を超えました。今年は40,000人を超えてくると思います。また、闘鶏神社が世界遺産に登録されてからは、バスを仕立てて多くの方が来訪されています。これも今までにはなかったことです。そういう方々をいかに、まちなかへ誘導し、経済効果を生ませるかということについて、これから皆で知恵を出し合っていくことが大事だと思っています。

その中で一つ、最近芽が出かけているのが、一昨年から始めました「たなべ未来創造塾」です。若い人たちに地域の課題をビジネスモデルで解決することをテーマに取り組んでもらっています。12人の塾生が、一年かけて産学官金を交えてディスカッションを行い、一人ひとりにビジネスモデルを提案してもらおうというもので、結果的にこの地域で起業してもらうことができれば、地域が元気になると考えています。実は嬉しいことに、その効果がもう出つつあります。たなべ未来創造塾を卒業した塾生が、今、駅前でパン屋を開業し、また古民家を改修してカフェとゲストハウスをオープンしています。

また、まちなかだけでなく、上芳養日向地区では、卒業した塾生が中心となり、耕作放棄地の活用や猪・鹿等による獣害を逆手にとってジビエで何とかしようと活動を始めていますし、虫食いにより「あかね材」と言われる二束三文になってしまった木材を逆手にとって、「虫食いも自然のままの素材」として商品価値を高めようと林業家、家具店、デザイナー、一級建築士、製材所、木工所などの若い人たちが集まりチャレンジをしてくれています。ぜひ、若い人たちのそうした気持ちは応援してやっていただきたいと思います。

今は大変厳しい時代です。なかなか当地が一気にV字回復とはなりません。しかしここで、地域の資源にもう一度目を向け、そして皆で力を合わせてこのまちの将来をどう描くかということについて、真剣に協力し合う時がきていると、私は思っています。私も歯車の一つとなって、精一杯努力をしていきたいと思っておりますので、田辺東ロータリークラブの皆様には、今後ともお力添えを賜りますようお願い申し上げます。本日は、ありがとうございました。





[主な景観・観光資源]



闘雞神社

熊野三山御参詣に替えるという三山の別宮的存在の神社。平成28年10月に、世界文化遺産に登録。



錦水公園

慶長11年(1606)に築城された田辺城の唯一の遺構で現在は錦水公園として活用。



南方熊楠顕彰館

菌類等の日本初期の代表的な研究者である南方熊楠が遺した蔵書・資料を公開。



歴史民俗資料館

世界遺産熊野古道のほか、田辺城をはじめ、市内の歴史や文化財に関する資料を公開。

田辺市の概要



市域面積：1,026.91km²

人口：74,877人（平成30年3月末時点）

景観の刷新

◆闘雞神社周辺の景観整備(参道の舗装の美装化等)



事業実施箇所及びモデル地区等

